

# 会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度 第4回 岩城まちづくり協議会
開 催 日 時	平成30年 1月18日(木) 午後6時00分~午後8時00分
開 催 場 所	岩城総合支所 1階 会議室
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
<b>【会議次第】</b>  1. 開会  2. あいさつ  3. 協議事項  4. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり



## 会議の経過

### 平成29年度 第4回 岩城まちづくり協議会

平成30年1月18日（木）

午後 6時00分 開会

#### 【開会・あいさつ】

##### ○佐々木振興課長

本日は、お忙しいところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ご案内の時間となりましたので、只今より平成29年度、第4回「岩城まちづくり協議会」を開会いたします。

始めに事務局より、ご報告申し上げます。

本日は、14名全員出席となっており、まちづくり協議会の開会要件の1/2以上を満たしていることをご報告申し上げます。

それでは、岩城まちづくり協議会 佐々木会長よりごあいさつをお願いいたします。

〔佐々木会長あいさつ〕

〔A委員から提供資料についての説明〕

#### 【協議内容】

##### ○佐々木会長

これまで、提言に向けて観光面と空き地・空き家をテーマに進めていこうということだったが、前回、テーマ自体も含めて再度揉んでみる必要があるのでは、とのことになったと伺っております。これを受けまして、先日役員会で協議させていただきまして、観光面はやはり進めたい、空き地・空き家の「空き家」の部分については、色々な制約・縛りがあることから協議が困難ではないか、空き地であればよいのでは、という話になりまして、観光と空き地という2つで進めてはどうかという話がでております。詳細について早川副会長からお話いただきます。

### ○早川副会長

ただ今会長がおっしゃったとおりですが、空き家については所有の問題もあり、現実的にちょっと無理ではないかと感じられたところでした。一方、空き地であれば考えていけるのではないかということで、岩城をアピールしていく意味で観光との2本で進めてはどうかという話になったところです。

また、「協議会としてどこまでやるのか」というところがいつも話に出ますが、自分たちのやれるところとして、まず提案するところまでやろうじゃないかという話ができました。実現・実践できればいいわけですが、この協議会でそこまでやるのは現実的でないということで、皆さんのご意見をいただきながら提案をまとめていければ、という話し合いとなりました。

### ○佐々木会長

先日の役員会については今のご説明のとおりで、役員会としてはそのように進めてはどうかということになりましたが、テーマの設定も含めて、委員の皆さんからご意見をいただきたい。

### ●B委員

今まで2期にわたり市に提言書を出しているが、市は提言書を「要望書」という認識で捕らえていると12月の市議会でも答弁されている。じゃあ、どこまでやれば「提言書」になるのかを聞いた。以前「アーティスト村」という構想を考えたことがあるが、漠然としたものではなく、地域を絞込み、地域の人たちと協議し、地域が受け入れる状態で具体的なプランを練って、というところまでやらないと、ただの要望で終わってしまうということだった。

また、先日のA委員の話もあったが、地域のことを我々が判っているかということがある。我々の考え方だけで進めていっていいのか、地域の方々の意見を吸い上げた形で方向性を出して行くことも必要ではないか。どっちにしてもタイムテーブルを作ってそれに基づいて行動していく必要がある。

### ●A委員

市の方向は「活性化」だ。「まちづくり」ではない。さきほど観光と言われたが、観光は「地域づくり」であって、それはそれでお金がいっている。それとの兼ね合いがどうなっていくか。さっきのサーフィンの話もそのとおりだが、要望するばかりでなく、まずは自分たちでやってみて実績を作るということも必要だ。そういうことをしていくことで支援も引き出すことができる。こういうことが「活性化」だと思う。むしろイベント広場で毎週ライブでもやったらいい、そうすれば若い人たちが集まって活性化になる。しかしながらこれは「まちづくり」ではない。そう考えたときに、どうしていけばいいか悩んでしまう。

● B委員

まちづくり協議会がシステムとして不完全だということだ。考え方だが、市の方向性と協議会が目指すものが、必ずしも一致しなくてもいいと思う。委員が考える方向性で提案を出すのであれば、非社会的な活動でなければ問題ないと思う。

● A委員

他の事業などと重複しないのは福祉分野ではないか。あとは活性化とか地域おこしとか里山づくり、担い手づくりなど、全て地域おこしだ。そもそも、若者がいやで出て行く町に誰が来るか、若者が出て行く町に若者を呼ぶのは無理だと東大の先生も言っている。内から盛り上げろということだ。由利本荘市は福祉分野で対外的に評価されており、そうなると行き着くところは福祉分野ということになるのではないか。

● C委員

毎回同じような話をしている。役員会で決めたのであれば、その方向にリードしてもらわないと。例えば「この問題に対する意見」といわれれば意見も出せるが、具体的な話をしてもらわないと。毎回同じで、方向が見えないというか、それぞれが違う方向を向いていたらまちづくりはまとまっていかないと思う。役員会でテーマを決めたのには理由があったはずだから、その辺を説明しながらリードしてもらわないと、勝手な意見しか出てこないと思う。

● D委員

かつては「地域協議会」という名前で、地域の要望等を市のほうに上げてるんだということだったが、その後、現在のまちづくり協議会に変わった経緯がある。以前の地域協議会に比べれば、今のまちづくり協議会は「困ってるから何とかしてくれ」というよりは「こういうふうにしたほうがいいのではないか」という提案をしていく形になっているんだと思う。

確かに問題点として「提案したけれど回答がないな」というところもあったが、委員の認識と市の意図とがずれていたようで、市としては、「提案をしてもらい、いいところがあれば行政の中に活かしていく」ということなのだと思う。

「言いつばなしではどうか」ということで「何かできることは」ということだろうが、お金の手当ても無い訳で、我々に求められているのは事業化を本格的に考えるというよりは、可能な範囲で取り組んでみよう、というところでのいいのではないか。

まちづくりという言葉から外れても、なにかしら市に提案・提言できることであれば取り組んでいいのではないか。

もし色々話し合っただけでできないのであれば、できないという結論を出しながら次期協議会に申し送りするシステムも今後構築していてもよい。

また、アンケートをとるという意見も出たが、アンケートの作成・配布・回収まで考えると大変な作業になる。それをやらなくても、ここにいる委員は岩城の住民であり、その中でそれぞれの意見で協議することは十分に意義のあることだと思う。

● A 委員

先生がそういうことを言ったらだめだ。あなたがリードしていかなければ、その立ち位置にいるんだ。今までの歴史的なことも、きちんと説明しなければならない。そこでずれてるからワヤワヤになってしまう。

○事務局

今、D 委員から協議会の位置づけについての話もありましたが、全くそのとおりと理解していただいていると思う。

進め方については今まで再三にわたりお話いただいた。A 委員からは度々「勉強しなければ」というお話もいただいております、それは責任を持った発言・提言をしていきたいという思いでおっしゃっていただいていると思うので、それは大変ありがたいが、それがそれぞれの委員の負担になったり、発言のしづらさにつながってしまったりということになるとすれば、それは我々としては本意ではなく、できればもう少し軽くというか、積極的に皆さんからご意見をいただくような会にさせていただければと思う。重く受け止めていただくのは本当にありがたいが、深刻になっていただいている部分は困る部分もあるので、各委員の皆さまにはご理解いただきたい。

● E 委員

あまりに漠然としていて、どういう形で提言していくのか悩んでいる。意見としてまだ出せない。

● C 委員

さきほどのサーファーの話があったが、ポリタンクを持ってきて駐車場で体を洗って帰って行く。そんなに有名なところなのであれば、もう少し、水道くらいつけてあげるとか、なにかきっかけを作ってあげればどうか。

● A 委員

今申請しているが、許可にならない。だから自分たちで土地を買って水道設置したらいいと言っているのだが、そういうことは考えないようだ。

● F 委員

そういうところは整備してあげたほうがいいと思う。気の毒だと思う。

● C 委員

なにが問題で許可にならないのか。

● G 委員

漁港に関係あるもの以外は作れないエリアで、補助金をもらっている関係から補助金を返せば可能ということだと思う。

● A 委員

補助金の規制緩和しかない。ある程度年数がたっているから可能性はあるはず。そういう方向を考えなければ。ただ「役所にいったら断られた」だけでは。

○ 佐々木会長

観光の関係で色々意見をいただいているが、空き地についてはいかがでしょうか。

● G 委員

空き地の利用についてだが、特に亀田地区は豪雪時の雪捨て場が不足しているので、冬季間の雪捨て場としての活用を考えてはどうか。

○ 早川副会長

昨年まで真田丸で賑わっていたが、先日、砂の器の話も出た。そういうところの観光地化を考えていければいいと思った。

● B 委員

ドラマは終わってしまうと急激にダウンしていくと思うが。

恒久的な観光、10年20年継続してやれる観光を考えるのか、それともなにも無いところから新たに観光というものを掘り出していくのか。あるいはこのまちづくり協議会でイベントをやってみようということでもいいんじゃないか。

● A 委員

次回まで全員に考えていることを書かせればいい。こういう観光にしたい、というのをそれぞれ持ってきて話をするべきで、ここでバーっと思いついて話しても忘れてしまう。

●B委員

任期がもう1年半くらいで提言をまとめるときに、岩城全体でやるのか、亀田地区にスポットをあてようとか、そういう絞込みが必要なのではないかと。

具体的な部分で、イベント広場でライブをやればという話もあったが、あそこを自由に使えるような形を提案するのか、道の駅の人たちにまとめてもらって窓口を作ってもらうのか、この協議会が窓口になって積極的に観光振興に参加していくのか、そこら辺だと思う。

○佐々木会長

それは今までの説明でいけば協議会の範疇を超えるのではないかと。あくまでも協議会としてはアイデアを出すという部分ではないかと。

●B委員

アイデアはいいのだが、市としては実践型をすごく重んじている。提言を出したところで、要望という形でしか捉えていない軽さがある。

○佐々木会長

ただ、協議会が窓口になってということになれば、市が考える協議会とかけ離れてしまうのではないかと。

●B委員

方法論を言っている。まちづくり協議会の委員がそういうことをやっていこう、でもいいと思う。あくまでも方法論を言っているのもあって、そのほかにも色々方法はあるだろう。

地元の自治会なり町内会に骨を折ってもらってというところもあるだろうし、産業課、株式会社岩城と折り合いをつけるとか、そういうところもあると思うが。

それと、広場でライブをやるとすれば、電源は欲しいし、屋根のあるステージを作ることで「ここでやってみよう」という人も出てくるかもしれない。

○佐々木会長

色々B委員が言われたように、「こういうふうになったらいいな」というようなことでも、それができる、できないは市の予算などの関係でできないものもある訳ですが、それにかかわらず色々意見を上げていくことでいいと思う。先のことまで考えたら進まなくなってしまう。

● H委員

直接関係ないが、さきほどのサーファーの話で、上新谷の方でもサーファーが来ていて、住民もあまり通らないよう小道に大きな車が入って行くので子どもたちが危ないということで、校外指導部や駐在所などで見回ってもらっている実態もある。そういう話もあるので気になった。

● I委員

観光と言っても大きすぎて浮かんでこない。道川の方ではサーファーの話もあったが、亀田になにかあるのか。茶室とかはあるが、ああいうところの活用なのか、どうなのか。

A委員が言われたように「住みたい町」というのがまずあって、観光といっても何があるのか。今、何で人が足を運んでくれるのか、悩んでいる。次までに書いてきてといわれても、なかなか書けない。絞り込んでなら書けると思うが。

● J委員

私も「まちづくり」というものの定義がまだ掴めていない。いままでの協議で感じたのは、夢の広がるような考え方はあっても、縛りがあってそこまで到達しないということがある。

例えば「こういうことがやりたいから、融通をきかせてもらえないか」というような要望を市なり市議会なりに働きかけをするというのも、協議会の役目かなと思う。

具体的には、サーファーの件でシャワーのことも出されたが、例えば「海水浴場」という指定があればそこにシャワーもつくでしょうけど、あそこは「サーファー場」なんですか、違うでしょ、ただの海でしょう？だから「サーファー場」というような、指定というか、許可をもらえるかというような働きかけをして、観光振興のために希望するのだということを書いていくことも協議会の役目と思う。

● F委員

亀田の方は観光地としては魅力に欠けると思う。ずっと観光客が来てくれるような観光地でなければダメだと思う。天鷲遊園があったころは私も何度も行ったし、沢山の人があちこちから来ていたと思う。それはもうできないにしても、私が考えているのは夢のような話になってしまうが、例えば庭園とかにできないのかと考えている。いわゆる日本庭園として整備して、モミジとか桜を植えて苔庭にして春から秋まで楽しめるような、有料にできるような庭園ができればお客さんが来るのではないかな。

●K委員

皆さん岩城の町は魅力がないと言われるが、岩城地区外の方々がわざわざ遊びに来てくれるところもある。住んでいる人は魅力がないと思っても、道の駅であったりウェーブであったりに来ている人がいる。あるものをうまく活用できなくて来てくれない、住んでいる人が気付いていない、というところもあると思う。

●L委員

観光に関しては、秋田市の人たちは道の駅に沢山来ているし、私自身としては岩城に住んでよかったと思っている。

食事するにしてもラーメン屋しかないし、出前もとれないし、もう少しテイクアウトのできる店があればいいとは思いますが、いい町に住んだことは住んだと思う。

●G委員

住んでいる人がいいと思える話を、皆さんから提言いただければいいと私は思っているので、観光に結び付けてもいいですが、住んでいる人がいいなと思えるものを話していければ。

○佐々木会長

色々話しも出してもらいましたが、時間になりました。最後に振興課長からひとことお願いします。

〔振興課長 あいさつ〕

○佐々木会長

これで本日の会議を終了します。ありがとうございました。

【午後8時00分閉会】